

人のための駅前広場 ―公共空間がつくる都市イメージ―

■ 趣旨

姫路駅北駅前広場は、これまでの交通機能優先の広場から歩行者の滞留や交流を促進するための広場へと大きく方向を転換し、姫路城の平成の大修理にあわせて整備が進められてきました。

昭和62年に鉄道高架化に伴う広場の見直し計画が立てられて以降、社会状況の変化や市民意見の反映を通じて、平成21年に現在のような人間活動を優先した駅前広場の基本レイアウトが決定されました。現在は、まちの活性化につながる官民連携による駅前広場の活用と管理のルールづくりを行うために社会実験が実施され、今後のマネジメント段階に向けた検討が進められています。

本フィールドワークでは、現地を歩きながらこれまでの計画・整備の経緯を辿るとともに、今後の広場の活用を通じた都市への波及効果の課題と可能性について意見交換を行いたいと思います。

■ 内容

◇フィールドワーク（姫路駅北駅前広場及び周辺地区）

片側4車線から1車線に縮小し歩道を拡幅した大手前通りをはじめ、JR新駅ビルと一体的に開発されたサンクンガーデン（キャッスルガーデン）や芝生広場、姫路城を望む駅ビルの屋上デッキや展望テラス（キャッスルビュー）、JRと山陽電鉄を結ぶ歩行者デッキなど、歩行者優先の空間に再整備された姫路駅北駅前広場周辺を姫路市のご担当者ご案内して頂きます。

◇意見交換（会場：納屋工房）

□姫路市職員（姫路駅周辺整備室担当者）

：これまでの整備の経緯や今後の予定、課題や展望について

□米谷啓和氏（一般社団法人ひとネットワークひめじ理事）

：姫路駅前広場活用協議会の運営組織であり広場の運営を担う団体。実施中の社会実験の内容など、今後のマネジメントの方向性や課題について

□長谷川香里氏（納屋工房代表）

：コミュニティスペース「納屋工房」を運営。駅前整備を契機とした様々な市民活動の情報発信や都市イメージの再生について

■ 開催要領

日時：平成26年11月7日（金）14:30～17:30

（フィールドワーク 14:30～16:00、意見交換 16:00～17:30）

集合場所：JR 姫路駅中央改札前コンコース

定員：20名（先着順）

当日連絡先：武田重昭（企画委員）携帯（090-9313-0892）

参加費：無料（学会員の方は必ず、会員証を当日ご持参下さい）

申込方法：学会HPにある参加申込みフォーム（http://www.cpij-kansai.jp/cmt_plan/top/plan.html）にて、所属・氏名（ふりがな）、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、11月5日（水）までに申込んで下さい。なお、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能限りメールアドレスをご記入下さい。（得られた個人情報は今回の催しにのみ使用します。）
注）このフィールドワークは「都市計画CPD」認定プログラム（予定）です。

